

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S15	施策名	公共施設等総合管理計画(公共FM)の運用					
担当部課	財政課		関係部課	全課				
基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営						
	行政改革指針・重点課題	2 財政改革の推進						
	法定受託事務の有無	無						
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市公共施設等総合管理計画、公共施設個別施設計画					
	施策開始の背景、経緯等	我が国では、高度経済成長期に建設された多くの公共施設等が老朽化し、一斉に更新時期を迎えていた。今後、公共施設等の維持補修・更新のために財源確保することは困難な可能性がある。このような中、国は平成28年度末までに、全ての地方公共団体に対して公共施設の点検等を実施した上で適切な措置を講じるための総合管理計画の策定要請を行った。これを受け本市では平成29年3月に「長久手市公共施設等総合管理計画」を策定した。						
施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 誰もが安全で安心して使用できる公共施設等を目指し、機能の複合化等の検討などによりトータルコストを縮減、財政負担を平準化するため、庁内の検討体制(FM推進会議、作業部会)を確立し、問題解決にあたる。						
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 公共施設						
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公共施設の適正配置や機能複合化、計画的な修繕により、コストの削減・平準化をはかる。						
目標・成果推移等①	施策に係る取組①	公共施設再配置計画の策定						
	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)			
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標			
	FM推進会議にて、今後の公共施設のあり方を検討した結果、時期尚早と判断し、事業凍結した。	—	—	—	—			
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)		
	特になし	—	—	—	—	—		
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み		
	(延べ) 0 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人		
	施策に係る取組②	公共施設の最適化(あまり使われていない施設の活用方法を検討し、効率的に活用していく)						
目標・成果推移等②	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	中期 (おおよそ3年後)	長期 (おおよそ5年後)			
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標			
	公共施設再配置計画策定の凍結が決定したことと、本市の公共施設がある程度活用されていることから、公共施設の最適化も積極的な検討を一時中断した。	—	—	—	—			
	費用・実績 (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)	費用・見込み (細々節名) (金額)		
	特になし	—	—	—	—	—		
	市民参加数・実績	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み		
	(延べ) 0 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人	(延べ) — 人		
	活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 公共施設マネジメント推進会議、作業部会を設置して公共施設の様々な問題解決の検討を実施した。また、施設修繕の予算配分案を示し、FM推進会議にて最終決定を行った。					

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 施策に係る取組①②が凍結したことから、特になし
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 各施設の修繕枠や大規模修繕の予算配分は、横断的な組織で検討し、全体のバランスを図りながら、中期的な財政計画と関連づけることができた。 公共施設再配置計画は事業凍結したため、状況をみて再度検討していきたい。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 本市における全公共施設の維持管理費は、今後30年の推計で合計950億円になる見込みだが、公共施設の維持管理更新を計画的に運用することで、財政負担の平準化、軽減を行う。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 今後の公共施設のあり方を検討したが、公共施設の最適化(統廃合)を検討するには、時期尚早と判断し、事業を凍結した。修繕工事の予算配分を最優先とし、計画的な修繕が実施できるよう、財政負担の平準化、軽減を行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	
	内部意見への回答	